

オーストラリア 雨が柑橘類の収穫を妨げる

FreshPlaza 2023年6月29日

オーストラリアの柑橘類は数週間前から収穫されているが、リバーランド地域では雨が作業を妨げている。

サイワールド社のサム・ヴァサラ氏は、「現時点ではゆっくりと進んでいる。雨のためにペースが落ちているので、梱包施設に十分な果実を搬入できない。現時点では果実の品質には影響は出ておらず、天候がすぐに回復することを期待している。果皮の内側の白い筋(アルベド)が少し出ているものがあるが、昨年ほど悪くはないので、影響を受けた果実を取り除くことに最善を尽くしている」と述べた。(以下「」は同氏の発言)

予測されたとおり、今年のワシントンネーブル種は入数88、113と果実のサイズが小さくなっている。小売主導の市場ではこれらのサイズの需要があるが、卸売市場はもっと大きなサイズを求めている。「大規模な生産者は出荷量が多いので大きなサイズを提供できているが、中小規模の生産者は大玉の果実を十分に持っていない。今年はレモンだけが大きく、誰も大きなレモンを求めている。」

同氏は、今シーズンは課題もあるが、需要が十分あり、出荷シーズンが進むにつれて順調に進むだろうと期待していると述べた。

「果実の風味は良いが、最善とは言えないかもしれない。オーストラリアは高品質で味の良い果実で知られており、天候のためにまだ風味が最高に達していないが、天気が回復すれば味も良くなるだろう。雨が収まれば、通常の状態に戻るだろう。」

「課題はあるものの、すべての市場は好調で、需要は良好である。また、タイと韓国で大変好評な皮を剥きやすいネーブル種の販売促進も行っており、日本と台湾への輸出を始めたところである。」

執筆者: ニコラ・マクレガー

オーストラリア ブドウのシーズンは良い結果で終了

FreshPlaza 2023年6月30日

オーストラリアのブドウの収穫は、シーズン開始時に予想されていたよりも良い結果で終わった。

オーストラリア生食用ブドウ協会CEOのジェフ・スコット氏は、「収穫シーズンは3~4週間遅れて始まり、その結果、一度に多くの品種が収穫された。11月と12月は雨が多く、それが遅れの要因であった。雨によるべと病やうどんこ病を予防するため、生産者は可能な時期に薬剤を散布する必要があったが、最終的には予想よりも良いシーズンになった」と述べた。(以下「」は同氏の発言)

雨天により果実が成熟して着色するまでに時間がかかったが、品質や収穫量には影響がなく、実際、オーストラリアのブドウの輸出量は今年2万トン増加した。今シーズンのブドウの総輸出額は5億7千万豪ドルに達した。(1豪ドル=約95円)

「早い時期の果実の多くは国内市場に出荷された。これらのブドウは通常輸出されるので、輸出が増えたという統計は喜ばしい。中国が今年1月に海外旅行を解禁したため、バイヤーがブドウ園に果実を見にくることができ、中国への輸出を押し上げた。中国は最大の市場で、ブドウの40%が中国向けであった。」

オーストラリアのブドウ産業は市場アクセスの改善に取り組んでおり、タイ、フィリピン等の市場向けの放射線照射プロトコルの取得、日本向け品種の早期の追加、及び米国向けプロトコルの変更を望んでいる。

「来年は、冬の夜の寒さと日中の暖かさ、春の適度な降雨、夏の少雨と暑さなど、気象パターンがやや通常に戻ると予想されているため、さらに良いシーズンを期待している。」

執筆者: ニコラ・マクレガー